



早いもので梅雨入りです。毎日ジメジメ^ずで気も滅入りますが、リフレッシュしながら乗り切りたいですね♡
さて、今年度初回のセンター通信をお届けします。新年度からセンター員の交代、各種行事など目白押しでした！

特定行為研修 開講式



中尾学長、来賓としてお招きした県看護協会長、県医務課長と看護班長、芝瀧看護部長（センター長）と、受講生で記念撮影
急性期医療コース4期生4名(右端4名)、地域医療コース10期生10名

受講者15名が知識及び技能の習得に向け、努力することを誓う

令和7年4月9日(水)、特定行為研修の開講式を挙行了しました。
附属病院看護職員向けの「急性期医療コース」には、今年度4期生として5名の方が受講中です。
また、「地域医療コース」は10期生10名を迎えました。
受講生の皆さんが無事に修了を迎えられるよう、応援してください！



受講生を代表し、宣誓を読み上げる中放・内視鏡部の中尾大輔さん

特定行為研修 地域医療コース9期生



脱水症状に対する輸液による補正で7名の受講生に指導する救急集中治療医学講座 宮本恭兵医師

区分別研修、順調に進む

今年度4月からは、特定行為研修9期生が区分別研修をスタートしました。
編入生2名を加えた計12名が、それぞれが習得する特定行為別にスクーリングに参加しました。今後は各自の所属施設で実習をスタートします。



PICC挿入時のエコー下穿刺の指導をする、教育研究開発センターの水本一弘医師と感染制御部の小谷智美副看護師長

今年度の事業予定、続々確定！



新宮医療圏3施設による教育連携が始動！

昨年度から、新宮医療圏の3施設（新宮市立医療センター、那智勝浦町立温泉病院、串本町立病院）の教育連携に関わらせていただいています。6月28日(土)に3施設合同の管理者研修を実施する予定です。

附属病院の専門・認定看護師会のご協力のもと、今年度も「感染管理」「状態変化時の初期対応」「がん看護」で、計6コースの受入研修を実施します。また、昨年度好評だった手術看護出張相談は、相談内容に応じて出張/受入の対応を調整する形で、より幅広い相談体制になりました！

受け入れ研修
募集開始

潜在看護師支援も継続

昨年度から継続している潜在看護師支援も継続して参加者を募集しています。当センターの支援は、潜在看護師個々のニーズを把握できるよう、応募者と面談を実施し、必要な支援を提供しています。皆さんの身近に働いていない看護師さんがおられましたら、お声がけください！

キャリア支援座談会や、オンライン研修、保健看護学部生のジョブシャドウイングについても、現在内容を検討中です！Vol.52をお楽しみに♪

よろしくお願いします



今年度4月から、センター員の交代がありました！
センター長は芝瀧看護部長が兼務となり、事務は鶴野と石塚が新たに着任しました！

発行：看護キャリア開発センター(3276)
担当：関口